

あぶしん景況レポート 2026年1～3月期



総合企画部

Vol.23 2026.4 発行

当地区の概況

【業種別天気図】

調査対象:120社

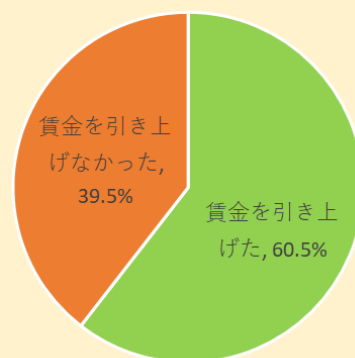
業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2025年 10～12月								▲ 8.3
2026年 1～3月								▲ 8.3
2026年 4～6月 (見通し)								▲ 1.7

- 2026年1～3月期（今期）の業況判断D.I.は前期と変わらず▲8.3となり、横ばいで推移した。業種別に見るとサービス業、不動産業において悪化した。
- 2026年4～6月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲1.7と、今期実績比6.5ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 2026年中の賃金引上げ状況 -

- 2026年中の賃金引上げ（定期昇給分除く、賞与や一時金除く、予定を含む）については、「引き上げた」が60.5%と前年調査（2025年3月調査、50.8%）から9.7ポイント上昇したのに対し、「引き上げなかった」は39.5%となった。
- 引き上げた企業の内訳をみると、「0%以上 2%未満」が31.7%、「2%以上 4%未満」が20.8%となった。
- 引き上げなかった企業の内訳をみると、「自社に従業員はいない（家族経営など）（12.5%）」「賃上げに見合う価格転嫁ができていない（8.3%）」「これまでに賃金を引上げ済み（8.3%）」と続いた。

2026年中の賃金引上げ状況



【業況判断天気図】



業況判断D.I.指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくはくあぶしん>
各支店へ！



あぶくま信用金庫
☎0244-23-5132

携帯・スマートフォンの方はQRコードを！
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん
<http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	35.0	35.0	20.0	10.0	5.0
	実績	0.0	30.0	35.0	20.0	15.0	▲ 5.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	21.1	47.4	31.6	0.0	▲ 10.5

業況判断D.I.は前期（実績）より10.0ポイント改善し、▲5.0となった。依然としてマイナス圏ではあるものの、持ち直しの動きがみられる。重点経営施策では「販路を広げる」が最も多く、人材確保や経費削減とあわせて、体制強化に向けた取組みが進められている。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人件費の増加	45.0%	45.0%
1	人手不足	45.0%	30.0%
3	原材料高	40.0%	50.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	65.0%	55.0%
2	人材を確保する	50.0%	50.0%
3	経費を節減する	35.0%	65.0%

卸売業

業況判断D.I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	11.1	61.1	16.7	11.1	▲ 16.7
	実績	0.0	27.8	44.4	22.2	5.6	0.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	33.3	55.6	11.1	0.0	22.2

業況判断D.I.は前期（実績）より22.2ポイント改善し、0.0となった。景況感は持ち直し、「やや良い」とする回答が増加している。経営課題では「売上の停滞・減少」が引き続き最も多く、収益環境の厳しさがうかがえる。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	55.6%	55.6%
2	同業者間の競争の激化	33.3%	38.9%
2	利幅の縮小	33.3%	22.2%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	66.7%	77.8%
2	経費を節減する	38.9%	50.0%
3	情報力を強化する	33.3%	22.2%

小売業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	4.8	14.3	66.7	14.3	0.0	4.8
	実績	0.0	38.1	33.3	28.6	0.0	9.5
来期 (4-6月)	予想	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0	14.3

業況判断D.I.は前期（実績）と変わらず9.5となった。2026年中の賃上げについては8割以上の企業が賃金を引き上げたと回答しており、全業種の中で最も高い水準となった。来期予想D.I.は4.8ポイント上昇の14.3となった。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	仕入先からの値上げ要請	38.1%	23.8%
2	利幅の縮小	33.3%	38.1%
2	人手不足	33.3%	33.3%
2	人件費の増加	33.3%	38.1%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	57.1%	42.9%
2	品揃えを改善する	28.6%	23.8%
3	人材を確保する	23.8%	33.3%
3	売れ筋商品を取扱う	23.8%	4.8%

サービス業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	5.0	60.0	35.0	0.0	▲ 30.0
	実績	0.0	0.0	50.0	40.0	10.0	▲ 50.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	5.0	80.0	15.0	0.0	▲ 10.0

業況判断D.I.は前期（実績）より35.0ポイント悪化の▲50.0となった。大幅な悪化となり、景況感は厳しい状況にある。来期予想D.I.は今期40.0ポイント改善の▲10.0を見込んでいる。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	55.0%	40.0%
2	人件費の増加	35.0%	65.0%
2	売上の停滞・減少	35.0%	25.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	販路を広げる	60.0%	50.0%
2	人材を確保する	45.0%	50.0%
3	経費を節減する	35.0%	40.0%

建設業

業況判断D.I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	4.8	9.5	57.1	14.3	14.3	▲ 14.3
	実績	9.5	9.5	61.9	14.3	4.8	0.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	14.3	47.6	28.6	9.5	▲ 23.8

業況判断D.I.は前期（実績）より19.0ポイント改善の0.0となった。経営課題では「人手不足」と答えた企業が6割を超えた。売上減少や材料費高騰への懸念も前期より高まっている。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人手不足	61.9%	57.1%
2	売上の停滞・減少	52.4%	38.1%
3	材料価格の上昇	38.1%	28.6%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	66.7%	57.1%
2	経費を節減する	52.4%	42.9%
3	技術力を高める	33.3%	38.1%
3	販路を広げる	33.3%	38.1%
3	情報力を強化する	33.3%	19.0%

不動産業

業況判断D.I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D.I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	15.0	80.0	5.0	0.0	10.0
	実績	0.0	15.0	65.0	10.0	10.0	▲ 5.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	15.8	68.4	10.5	5.3	0.0

業況判断D.I.は前期（実績）より15.0ポイント悪化し、▲5.0となった。プラス圏からマイナス圏へ転じ、やや厳しい状況となっている。経営課題では「利幅の縮小」「同業者間の競争の激化」「商品物件の高騰」が挙げられ、収益確保の難しさがうかがえる。

○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	利幅の縮小	30.0%	45.0%
1	同業者間の競争の激化	30.0%	35.0%
1	商品物件の高騰	30.0%	20.0%

○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	情報力を強化する	35.0%	45.0%
2	経費を節減する	30.0%	20.0%
2	不動産の有効活用を図る	30.0%	15.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

回答社数:12,820社

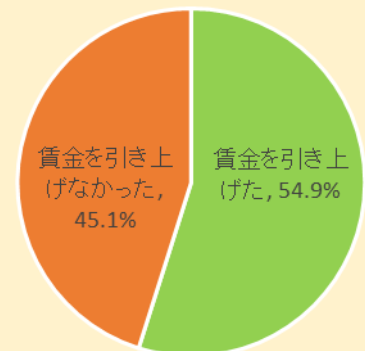
		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2025年 10~12月								▲2.4
	2026年 1~3月								▲5.8
	2026年 4~6月 (見通し)								▲3.7
東北	2026年 1~3月								▲21.5

- 全国の2026年1~3月期（今期）の業況判断D.I.は▲5.8、前期比3.4ポイント低下と、4四半期ぶりの小幅低下となった。2026年4~6月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲3.7と、今期実績比2.1ポイントの改善を見込んでいる。
- 東北地区の2026年1~3月期（今期）の業況判断D.I.は▲21.5と、前期比9.9ポイント低下した。2026年4~6月期（来期）の予想業況判断D.I.は▲17.6と、今期実績比3.9ポイントの改善を見込んでいる。

特別調査 - 2026年中の賃金引上げ状況 -

- 2026年中の賃金引上げ（定期昇給分除く、賞与や一時金除く、予定を含む）については、「引き上げた」が54.9%と前年調査（2025年3月調査、51.2%）から3.7ポイント上昇したのに対し、「引き上げなかった」は45.1%となった。
- 賃金を引き上げたと回答した企業の割合は2年連続での小幅上昇となったが、引上げ率という面では苦戦している様子も見られた。
- 引き上げなかった企業の内訳をみると、「今後の業績見通しが不透明（11.9%）」、「自社に従業員はいない（家族経営など）（10.4%）」と続いた。

2026年中の賃金引上げ状況



全国の調査員からのコメント

- 価格帯や利幅の大きい物件に絞った仕入・販売を行うことで、堅調に利益を上げている。
(建売 埼玉県)
- 賃上げの必要性は認識しているが、今後の業況が不透明なため、二の足を踏んでいる。
(真珠製品小売 三重県)

【調査要領】

1. 調査時期 2026年3月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。